心の原風景が甦る。

「田園風景」は心に刻まれた日本の「原風景」

緑の眩しさが美しい稲の生育期、一面を黄金色に染めた稲穂・・・
それはわたしたち日本人が大切にしたい風景であり
同時に私たちの食生活を支える食料生産の場。
近年は日本人が想い描く「原風景」が、さまざまな要因により
その姿を変えようとしています。
美しい田園風景を未来の子供たちに受け継いで行くには
農地の適切な維持管理が必要です。
溝畔や畦畔のあり方を考える取り組みで、
未来に繋がる「新・田園風景」の創造に、地域みんなで取り組んでみませんか。

植栽による緑化が溝畔・畦畔の良好な景観を形成し、「新・田園風景」を創造します。

田園風景をより美しく。次の世代に繋がる景観形成をめざします。

シバザクラ

ヒメイワダレソウ

カバープランツの導入は、周辺環境にも配慮した取組で除草剤に頼らない農地の維持保全とともに環境保全も図ることができ、美しい景観の創造につながります。また除草作業などの負担軽減効果もあります。

※カバープランツとは、地面を覆うように低く生える植物（地被植物）で、シバザクラやマツバギク、シロタエギクなどのほか、「芝生」もカバープランツの一種です。

溝畔植物選定表

項　目	センチピードグラス（改良種）ピット苗＋防草シート	ヒメイワダレソウ＋防草シート	イワダレソウ（改良種）＋防草シート	シバザクラ
原産地	中国原産（外来種）	ペルー原産（外来種）	ペルー原産（外来種）	北米原産（外来種）
適　地	平地、中山間地（特に高い標高の場合は注意）	平地、中山間地（特に高い標高の場合は注意）	平地、中山間地（特に高い標高の場合は注意）	平地、中山間地、山地
水分条件	乾燥地（滞水箇所は避ける）	乾燥地（滞水箇所は避ける）	乾燥地（滞水箇所は避ける）	乾燥地（滞水箇所は避ける）
積雪条件※	最大積雪深 H=2.0m以下	最大積雪深 H=2.5m以下	最大積雪深 H=2.0m以下	最大積雪深 H=2.5m以下
日照条件	日向、日陰	日向	日向	日向
土質・PH	選ばない（埴土は不適）PH：4.2～8.5	選ばない（埴土は不適）PH：4.5～8.0	選ばない（埴土は不適）PH：4.5～9.0	選ばない（埴土は不適）
害　虫	特にカメムシを誘引しにくい	カメムシを誘引しにくい	カメムシを誘引しにくい	カメムシを誘引しにくい
害　獣	野鼠被害を受けにくい	野鼠被害あり（生息場所では対策必要）	野鼠被害大（生息場所では特に対策が必要）	（要検証）

畦畔植物選定表

項　目	センチピードグラス（改良種）ピット苗・種子播種	クリーピングベントグラス種子播種
原産地	中国原産（外来種）	欧米原産（外来種）
適　地	平地、中山間地（特に高い標高の場合は注意）	中山間地など寒冷地の溝畔や畦畔
水分条件	乾燥地	湿潤地（乾燥場所は不可）
積雪条件※	最大積雪深 H=2.0m以下	最大積雪深 H=3.0m以下
日照条件	日向、日陰	半日陰（日当りの良い場所は避ける）
土質・PH	選ばない（埴土は避ける）PH：4.2～8.5	（要検証）
害　虫	カメムシを誘引しにくい	（要検証）
害　獣	野鼠、もぐらの害は、少ない	（要検証）

※積雪条件の最大積雪深は推定値であり、実証が必要　※外来種を植栽する場合は、周辺環境への影響を十分に考慮してください。

PRACTICE REPORT

VOICE 実践リポート　実際に植栽による維持管理に取り組まれている農家さんにお話を伺いました。

地域住民が一体となった植栽活動で美しい田園風景をより美しく。次の世代に繋がる景観形成をカバープランツで実現。

下中野環境保全ネットワーク
宮地 正春さん

燕市吉田下中野地内の下中野環境保全ネットワークでは宮地さんらが中心となり、溝畔へのカバープランツの植栽が行われています。

地域の共同作業という位置づけで植栽に取り組み、溝畔の維持管理の軽減に役立っているとのこと。植付け作業や、その後の維持管理作業は子供からお年寄りまでが参加する地域総出の作業として行われています。

「一定の維持管理作業は必要ですが、大きな負担ではありません。」と話される宮地さん。植栽から7年、植替えなどの必要もなく、良好な景観が維持されています。

H.21

雑草との競合を回避するためセル成型苗を植え付け。

「センチピードグラス」によるカバープランツ。

H.27

定植後は簡易な維持管理で景観維持。

カバープランツの営農面における効果

カバープランツの植栽には多面的機能支払交付金の活用が可能です。有効に利用しましょう。

溝畔・畦畔の適切な維持管理は、農業者の減少や高齢化等により困難となっており、特に法面が長大で、傾斜が急な中山間地域で顕著となっています。カバープランツの植栽は良好な景観形成とともに草刈作業が不要となるなど、営農面での負担軽減効果もあります。また、集落で合意形成を図り、共同活動として取り組めばより効率的に実施が可能です。

集落全体で活動方法などを話し合いましょう

集落単位の取り組みで、良好な景観形成とともに維持管理作業の軽減に大きな効果を発揮